

肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ、暖かな春が近づいてきました。

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。各北中学校の最上級生として、威厳と風格を持ちながら突き進んでくれた三年間は、今、先輩方の目にどのような映っていましたか。

この一年で、先輩方から、私達在校生はたくさんのおもを受け取りました。一度決めたことや通す実行力、一生懸命に取り組むことが、かっこいいいーというところを先輩方から教えたいただきました。また努力の大切さ、仲間を思いやる意志を私達は先輩の姿から学びました。

その姿が合唱に表れているからこそ私達は自然と「三年生といえば合唱」というイメージを持つようになりました。三年生の合唱コンクールでの歌声は、とてもきれいで迫力がありました。学年合唱の「大地讃頌」は、一人一人の気持ちや歌詞を通して伝わってきて、と

ても感動しました。先日、三年生を送る会に披露された「群青」も、言葉では表現できないほど素晴らしい歌でした。各中で過ぎられた三年間の軌跡を思い返しながらか、歌詞に想いを重ねて歌いあげる先輩方の姿が、今でも鮮明に思い出されます。学年を一つにたばねる指揮者の背中には、いつもよりも何倍も大きく見え、コンサートホールで見た龍尾先生の姿と重なりました。生徒と先生がつくり上げた学年の歌声に、私達は圧倒されました。各北中学校の伝統が刻まれる瞬間を目の当たりにしたように感じます。

そんな三年生が卒業を迎える。そう思うと、心細くなります。私達は三年生の笑顔に何度も元気づけられました。私達の心の中には、いつも明るく、笑顔で接してくだされた先輩方がいます。三年生一人一人の笑顔は、きっとこれから誰かを元気づけることにつながるだろうと思います。だから、つらいことがあっても笑顔を忘れないでください。今日、私達は

先輩からのバトンを受け取り、これからの格
中をつくって行く覚悟を決めました。どうし
ても自分だけが楽しいことに目が向きがちな
私達に、みんなを取り組むことは楽しいん
だ。と行動で示してくださったのは、粉れも
ない先輩方です。まだバラバラな私達ですが、
先輩方のように、後輩の心を動かすことがで
きる立派な先輩になれるよう、個性を武器に
皆で一つの学校をつくり、格中に新たな一ペ
ージを刻んでいきます。

格中はいつても心の中に

そう、先輩方の心の中の格中は、永遠です。
どうかそのことを忘れずに、これからの舞台
で大暴れしていきください。在校生一同、先
輩方を心から応援しています。

ご卒業、おめでとうございます。